

# 火炎検出器

神戸製鋼グループ

## 火炎強度と火炎周波数により火炎を検出

### 概要

従来の火炎検出器（UVチューブ）に比べ適用範囲が広く、誤検出を防止できます。また、検出部に半導体を使用しているため、定期的な部品交換は不要です。

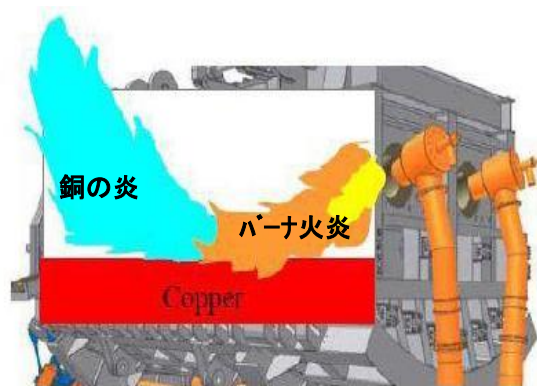
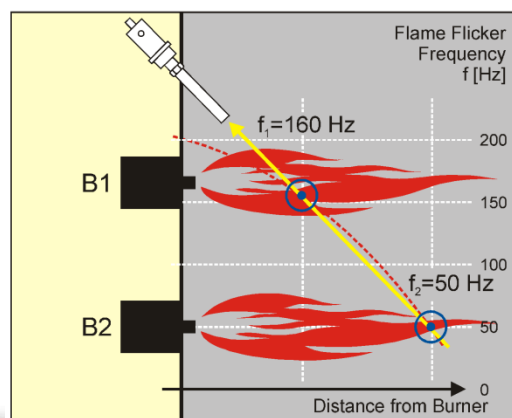
### 特徴

- 回路2重化による安全設計（自己診断機能付）：**SIL3**認証取得済み
- 火炎強度と火炎周波数**の2つの閾値により火炎を検出。
- 2つのレンジをもち、遠隔で切替可能  
⇒1台でパイロットとメインバーナの火炎を監視可能  
*※但し、時限式パイロットの場合のパイロット単独、パイロット/メイン同時燃焼、メイン単独時の3通りのみで、パイロット/メイン同時燃焼時の個別監視は不可です。*
- 検出部が半導体なので、**メンテフリー**  
⇒UVチューブのように、定期的な交換不要
- シャッター等の駆動部がないため、故障率が低い  
⇒完全2重化回路構成(1 out of 2)による自己診断機能付きのため、シャッター不要。

### 特徴を活かした適用例

2本並んだバーナでも火炎強度と周波数の閾値により、自バーナの炎を識別

銅が燃える炎とバーナの炎を、火炎強度と火炎周波数で識別



製造元：Durag GmbH